

## 福祉サービス第三者評価 評価結果

【保育所】

### ことぶき保育園

横浜市中区寿町 3-12-1

運営主体：公益財団法人 神奈川県労働福祉協会

実施概要	1 ページ
総合評価 (評価結果についての講評)	2～3 ページ
分類別評価結果	4～14 ページ
利用者家族アンケート分析・集計結果	15～21 ページ
利用者本人調査分析	22～23 ページ
事業者コメント	24～25 ページ

作成日：2011年3月31日

実施機関：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

## 実施概要

事業所名	ことぶき保育園（保育所）		
事業所への 報告書提出日	2011年3月2日	評価に要した期間	8ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま		

### 評価方法

1、自己評価 実施期間 2010年7月下旬～9月下旬	<p>リーダー会議で趣旨を説明し、リーダーから各職員に説明を行った。常勤職員・非常勤職員全てが記入し提出した。</p> <p>自己評価記入票をもとに、常勤職員グループ、非常勤職員グループ、保育士以外のグループの3つのグループにわかれ意見交換をし、それぞれのグループで確認した内容をもとに保育長、主任保育士が協議してまとめた。</p>
2、利用者家族アンケート調査 実施期間 2010年9月1日～14日	<p>全園児の保護者（51世帯）に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡しで配付した。外国籍等の保護者が多いため、それぞれの言語翻訳版を使い配付した。</p> <p>（内訳：中国語23、日本語21、英語6、ベトナム語1）</p> <p>各保護者より、返信用封筒で、評価機関にあてて無記名で返送してもらった。</p>
3、訪問実地調査 実施日：第1日 2010年11月4日 第2日 11月10日	<p>[第1日]</p> <p>午前：各クラスで保育観察。 昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 午後：書類調査。園長・保育長・主任保育士・運営法人職員に面接調査。</p> <p>[第2日]</p> <p>午前：朝は登園の様子を観察。その後、各クラスで保育観察。 昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 午後：各クラス担任保育士7名（常勤5名、非常勤2名）、幼児フリー保育士1名（常勤）、栄養士、用務員、保育長、主任保育士に個別に面接調査。 その後、園長・運営法人職員に面接調査。 最後に意見交換を行い、終了。</p>
4、利用者本人調査 実施日：第1日 2010年11月4日 第2日 11月10日	<p>観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施し、戸外・園外活動、園隣接の公園でのラジオ体操、避難訓練も観察した。</p> <p>幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。</p>

## 総合評価（評価結果についての講評）

### 【施設の概要】

「ことぶき保育園」は、JR石川町駅から歩いて10分ほどの寿町にあり、駅を挟んですぐ反対側には横浜中華街があります。この地域には日雇い労働者の宿泊施設が多数あり、かつては“日雇い労働者の町”として栄えましたが、近年では住民が高齢化し、自立支援施設やNPOによる炊き出しなど活動も盛んに行われ、“福祉の街”と呼ばれるようになりました。

昭和39年に寿町の住人の為の生活館として横浜市が建築した建物の1階部分が園舎となっています。昭和40年4月に、(財)神奈川県労働福祉協会（以下、運営法人）により設立された歴史ある園です。運営法人は、昭和32年12月に日雇労働者の経済的自立及び生活意欲の向上をはかることを目的に任意団体として発足して以来、日雇労働者の宿泊施設や会館運営、さらには日雇労働者の無料職業紹介施設の運営等を事業として行っています。現在は「寿労働センター」「かながわ労働プラザ（Lプラザ）」「川崎市生活文化会館（てくのかわさき）」の3つを運営しています。また、保護者の働きやすい環境作りと福祉の増進を目的として保育園の運営も行っており、当園の他に、川崎市において「東門前保育園」「川崎市大師保育園」を運営しています。（指定管理施設を含みます）

ことぶき保育園の園舎は、昭和39年に寿町の住人の為の生活館として横浜市が建築し、その1階部分が保育園となっています。定員は0～5歳児で60名、開園時間は7:30～19:00です。

園の保育方針として、以下の4つを挙げて取り組んでいます。

- 1．子どもたちが、安心して落ち着いて過ごせる環境を整えます。
- 2．どの子ども遊びを通して満たされ、感性豊かな発達を促します。
- 3．一人ひとりがのびのびと自己表現ができ、お友達との関係を通して社会性を育てます。
- 4．障害のある子や、外国籍の子どもも一緒に成長出来るよう配慮します。

### 高く評価できる点

#### 1、自分で考え、のびのびと自発的に遊ぶ子どもたち

子どもたちは、のびのびと健康的な園生活を送っています。

幼児クラスは縦割り編成で2クラスあり、異年齢児が共に過ごし、年上の子どもが年下の子どもができない事を手伝うなど学びあい、助け合う姿が見られます。

わらべうたを積極的に取り入れています。自由遊びや片付けなどの場面展開などで、子どもたちがわらべ歌を歌いながら遊ぶ姿が見られ、わらべ歌を通して心を落ち着けることや、大勢の仲間と楽しむ事が自然と身に付いています。

また、健康増進の取り組みとして、年齢毎に成長に合わせたプログラムを用意しています。発達に応じて子どもたちも、「出来るようになった」という満足感と身体を動かした後の開放感を体感することで、自信を持って積極的に行動することができるようになっていきます。準備ではテキパキと自分で着替える、終了後には進んで片付けを手伝うなどの姿が見られました。

#### 2、子ども一人ひとりの違いを認め、子どもの状況に応じた柔軟な支援

現在は、外国籍等の文化の異なる園児が多数を占めています。そのため言葉がうまく通じないことがあります。保育士は、自分の気持ちを言葉で表現することが難しい子どもに選択肢を示すなど、気持ちや発言を受け入れられるよう意識して、どの子どもにも伝わるように常に心がけています。

子ども同士でも、言葉や文化の違う子や障がいのある子を理解し、日常にお互いの違いを認め助け合うことが身に付き、「外国の子や、障害のある子もみんな仲良し」という保育目標も実践されています。

指導計画も関係職員がよく話し合って作成し、子どもの状況を考慮し、常に柔軟に見直しています。また、保育士は、子どもの「自分がしたい」という気持ちを大切にして無理強いはしません。常に個を尊重し、コミュニケーションに工夫をしていて、誰をも受け入れる保育姿勢が見られました。

## 独自に取り組んでいる点

### 1、文化の異なる子どもや保護者とのコミュニケーション技術の工夫

近隣の中華街等で働く外国籍の保護者のニーズが増えた状況に応える形で、外国籍の子どもをはじめ、低年齢児、障がい児を受け入れるなど、保護者の働きやすい環境作りに積極的に努めています。

3分の2を占める外国籍の子どもや保護者とスムーズにコミュニケーションが取れるよう、中国語、タガログ語、英語などを話せる職員を配置しています。また、職員の退職や新たな配置、新型インフルエンザの流行時などの重要な情報は、その国の言葉に翻訳したお知らせを作るなどの工夫をしています。

訪問調査の日にも、送迎時の保護者同士で声を掛け合う様子や、外国籍の子どもと日本の子どもが仲良く遊んでいる様子が見られ、職員の努力だけではなく、在日期間の長い保護者からの協力や、子ども同士で通訳をするなど、日常にお互いを理解し合い、協力し合っていることが伺われました。

### 2、プレイルームの活用

保育室の他に、園庭にプレハブのプレイルームがあり、日常の保育の中で様々な用途に活用しています。この部屋では、子どもたちが主体となって自主的に工夫して遊んでいる姿が見られました。自然とできた小グループでのごっこ遊びや、1人で製作などに取り組むことも出来ます。

特に年長児の自主性の尊重において、有効に使われています。午睡時は、プレハブは寝ている子どもと離れた場所にあるため、午睡をしない子どもの居場所として、自由に遊び込んだり、新しい遊びを覚えたり、食育を取り入れたクッキングの場として活用されています。

## 分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。




「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

### 評価領域 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p>  <p>(1) 保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか。</p> <p>(2) 保育課程は、保育の基本方針に基づき、保護者の実状などを考慮して作成されているか。</p> <p>(3) 日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の理念は、入園の際に保護者に配付する「しおり」に、保育目標として下記のように掲げ、利用者本人を尊重したものになっています。             <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもたちが安心して落ちついて過ごせる環境を整える。</li> <li>2. 遊びを大切に考え、どの子どもも遊べるように発達にあった遊びを提供する。</li> <li>3. 一人ひとりがのびのびと自己表現ができ、他人との関係を通して社会性を育てる。</li> <li>4. 障害のある子や外国籍の子どももいっしょに成長できるように配慮する。</li> </ol> </li> <li>・保育課程では「子どもの人権を法的、制度的に尊重し、発達や経験の個人差、国籍や文化の違いなど職員の共通認識とする」ことが掲げられています。</li> <li>・園のある地域（中区寿町）は、低所得者層や日雇い労働者の人が多く住む地域であり、園を運営する公益財団法人神奈川県労働福祉協会（以下、運営法人）は、この地域で、労働福祉の充実や就労支援を目的とした事業を長年運営し、近年の雇用情勢の悪化の中、社会的に大きな役割を果たしています。園設立の当初はこの地域の家庭の子どもたちを多く受け入れてきました。現在は、園の保護者の過半数は、近隣の中華街で働く外国籍の住民などが占めています。園では法人の目的の下に、子どもたちの健やかな成長をめざし、日々創意工夫をしながら保育実践を行っています。</li> <li>・外国籍の保護者には、主に日常の会話を通してコミュニケーションを取るよう配慮しています。食事など日本の生活や習慣が理解できるよう、保育課程の作成にあたっても考慮しています。</li> <li>・月案の作成にあたっては、食事、離乳食、トイレ・トレーニングの進め方など、一人ひとりの到達状況や意欲を勘案して、子どもの自主性、主体性を尊重して柔軟に対応しています。</li> </ul>

## - 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



- (1) 入園前に子どもの発達状況や課題を把握しているか。
- (2) 新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか。
- (3) 子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。

- ・入園までの生育歴や家庭での状況は、保護者から聴き取るほか、「母子手帳」も確認し、「個人票」「慣らし保育予定表」や個人ごとの「経過記録」に記入しています。子どもの発達状況や家庭での状況も把握し、記録しています。
- ・短縮保育(慣らし保育)は、初日と2日目は親子で過ごし、園に慣れる時間をとっていますが、家庭の事情を考慮して日数を加減するなど柔軟に対応しています。
- ・指導計画は毎月、保育長・主任・担任が話し合っって作成しています。乳児クラスは乳児会議を開いて対応し、「自分がしたい」という気持ちを大切に、子どもの状況を考慮した計画にするよう、柔軟に見直しています。

## - 3 快適な施設環境の確保



- (1) 子どもが快適に過ごせるような環境(清潔さ、採光、換気、照明等)への配慮がなされているか。
- (2) 沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。
- (3) 子どもの発達に応じた環境が確保されているか。

- ・園内・園庭は毎日清掃をして清潔に保たれています。通風、換気等適宜に行われており、各保育室には冷暖房機、扇風機、空気清浄機が設置されています。各クラスは床暖房がされ、施設内の温度は20度位に管理し、乾燥時には加湿器を使用しています。また、保育室には陽光を十分取り入れています。
- ・0歳児の保育室には沐浴と温水シャワーの設備が設置され、きれいに清掃・管理されています。
- ・保育室内にマットやテーブル・背の低い棚などでコーナーをつくり、小集団で遊べるような工夫がされています。各保育室には絵本、ぬいぐるみ、レゴブロック、木製の積木やミニキッチン、ミニ食器、保育士の手作りで布製の野菜やケーキなどのお菓子などを置き、子どもがいつでも取り出して遊べるようにしています。

## - 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力



- (1) 子ども一人ひとりの状況に応じて保育目標を設定し、それに応じた個別指導計画を作成しているか。
- (2) 子ども一人ひとりの発達の段階に応じた対応をし、その記録があるか。

- ・0、1、2歳児については、個別指導計画を作成しています。幼児についても特別な課題がある子どもには保護者と面接し、個別指導計画を作成しています。
- ・個別の目標・計画は定期的に見直しをしているほか、子どもの発達状況に応じて、トイレット・トレーニング、離乳食など、柔軟に計画を見直しし、保護者にも説明をしています。
- ・子どもや家庭の個別の状況、入園後の子どもの成長発達記録は「個人票」や「経過記録」に記録しています。
- ・記録は職員室の所定のファイリングボックスに保管され、職員はいつでも見ることができ、日常の保育に活かされています。
- ・子どもについての重要な申し送り事項の記録は、進級時、担任の変更時に申し送りをし、保育内容の継続性を考慮しています。

## - 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- (1) 特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。
- (2) 障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。
- (3) アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができていないか。
- (4) 外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。

- ・障がい児やアレルギーなど特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れています。子どもへの対応や気をつける点については、職員会議で話し合い、情報を共有化し、記録しています。
- ・玄関はスロープになっており、トイレには手すりを設けてあります。保育室、廊下などの床はフラットで、障がい児保育のための環境整備に配慮しています。
- ・中区の保健師との連携体制が整っており、いつでも連絡相談ができます。また、中部療育センターが年1回、巡回指導のため来訪しています。
- ・アレルギー疾患のある子どものかかりつけ医から、「除去食申請に対する主治医意見書」により食事上の注意点について指示されています。この指示に基づき、栄養士、調理員、保育長、クラス担任が保護者と共に相談し、代替食・除去食の提供など適切な対応をしています。
- ・過半数を占める外国籍の子どもや保護者のために、中国語・タガログ語・英語などを話せる職員を配置し、コミュニケーションを取れるよう配慮しています。重要な情報は、その国の言葉に翻訳したプリントを作るなど工夫しています。
- ・給食では、牛肉や豚肉を除去して代替食を提供するなど、食事や宗教を含めた文化や生活習慣、考え方の違いを認め尊重しています。
- ・文化や生活習慣の違いを子どもたちが理解できるように、中国の行事「春節祭」について保育士がお話をしたり、祭のお菓子を食べたりしています。また、中華街の見学も行いました。


## - 6 苦情解決体制





- (1) 保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。
- (2) 要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。

- ・苦情受付の体制については、苦情受付担当者、苦情解決責任者に申し立てができるよう、廊下に「苦情解決の手順」を掲示し周知しています。第三者委員2名の氏名は記されていますが、連絡先をしおりに載せるなどの工夫が望まれます。また、今後は第三者委員と定期的に意見交換の場を設けるなど、仕組みを活かす改善が望まれます。
- ・横浜市福祉調整委員会などの他機関へも直接苦情の相談ができることを掲示して周知しています。
- ・苦情や要望は日常の送り迎えの際や、年2回行われる懇談会で把握するようにしています。行事への希望アンケートや、主食の負担額のアンケートなどを行い、保護者から要望を聞いています。
- ・園単独で解決困難な要望や苦情の場合は、区福祉保健センター、中央児童相談所等に相談できる体制があります。

評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育内容[遊び]</p>  <p>(1)子どもが主体的に活動できる環境構成（おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど）ができているか。</p> <p>(2)遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。</p> <p>(3)動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。</p> <p>(4)子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。</p> <p>(5)遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。</p> <p>(6)積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが落ち着いて遊べるような空間構成や、季節・発達に応じた遊びや子どもの動線、おもちゃやコーナー作りなどについて、職員会議で話し合い、年齢や発達にふさわしい環境構成に努めています。</li> <li>・わらべうたを活用して、保育士と一対一での手遊びから少しずつ集団に広げ、年齢に応じてみんなで一緒に遊ぶ楽しさとともに、友だち関係やルールを守る等の社会性が身に付くように工夫しています。</li> <li>・朝や午睡の後などに自由遊びの時間を十分に取り入れ、子どもが自分の好きなことをして遊び込めるようにしています。5歳児は、午睡の時間にプレイルームを活用して自主的に好きな事をして遊べるようにしています。</li> <li>・園庭で栽培した花を使って色水遊びをしたり、種は収穫して次の季節に植えるなど、自然の営みを体験で知るような機会を提供しています。</li> <li>・園の前の公園で毎日開催される地区社協主催のラジオ体操に年長児クラス全員で参加し、地域の人たちとあいさつを交わすなど、地域や社会に関わっています。</li> <li>・色鉛筆や色紙、廃材などを取り出して絵を書いたり制作をしたり、友だち同士でわらべうたを歌ったり、自由に表現する姿が見られました。</li> <li>・幼児クラスは縦割り保育のため3～5歳児はともに過ごし、日常的に年上の子どもが年下の子どものできない事を手伝うなど、異年齢児の交流が見られました。</li> <li>・週1回程度、定期的に体育のプログラムを取り入れ、発達段階に応じて運動能力を高められるよう健康増進の工夫を行っています。</li> </ul>
<p>- 1 保育内容[生活]</p>  <p>(7)食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。</p> <p>(8)食事の場、食材、食器等に配慮しているか。</p> <p>(9)子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。</p> <p>(10)子どもの食生活について、家庭と連携しているか。</p> <p>(11)午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。</p> <p>(12)排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食の時、食べる量を子ども自身が調節し、おかわりも自分の意思でしています。また、保育士は、子どもの様子を見ながら、食べきれないときには量を減らし、少しでも食べてみるように声をかけ、残さず食べることや偏食を直すことを強制せずに、適切に支援している様子が見られました。</li> <li>・幼児クラスでは当番が配膳を手伝うなど、子どもたちが食事及びその過程に関心を持つように配慮しています。</li> <li>・食器は、安全性と重みがあり壊れにくい磁器食器を使用し、食材は直接青果市場より、新鮮さと安全性に配慮し、国産のものにこだわって購入しています。また、食器の入れ替えの際には、子どもの成長・発達や用途に即した食器について職員会議で話し合って決めています。</li> <li>・栄養士は、職員会議で担任から給食での子どもの様子や残食についての報告を聞いて、子どもの好き嫌いを把握するほか、土曜日など調理室の余裕のある機会を利用して、子どもたちの食事の様子を直接見て、盛り付けや調理方法を工夫しています。</li> <li>・献立表は、毎月給食だよりに掲載し、献立作成のポイントなどの保護者に園で提供する食事に対する関心を促しています。</li> <li>・乳児クラスでは短縮保育（ならし保育）時や、懇談会で当日のおやつを提供するなど、保護者が試食できる機会等を設けて、栄養・味付け・</li> </ul>



	<p>食べ方（噛み方）等の、園で配慮していることを知らせています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者負担をなるべく少なくするよう、幼児の主食を提供しています。また、乳児の使用するエプロンや布おむつ、カバー、トレーニングパンツ等は園で洗濯し、管理しています。</li> <li>・排泄については個人差があるので、園での状況を乳児は連絡帳を使い、幼児は口頭で伝えるなど保護者との連携を密にしています。</li> <li>・午睡時、安心して心地よい眠りにつけるよう、カーテンを閉めて静かな環境を作っています。</li> </ul> <p>乳児クラス・幼児クラスともに午睡時は、15分おきにブレスチェックをし、チェック表に付けて、乳幼児突然死症候群に対する対策を行っています。</p> <p>5歳児は9月頃より午睡を止めてプレイルームで文字の練習やゲーム、お話などをして過ごしています。子どもの状況に応じて、必要な場合には横になるなど静かに過ごさせたりもしています。</p>
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]</p>  <p>(1)子どもの健康管理は、適切に実施されているか。</p> <p>(2)健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。</p> <p>(3)感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康管理に関するマニュアルがあります。</li> <li>・子ども一人ひとりの健康状態や既往症を記録している健康記録票は、職員室の所定の場所で管理しています。職員はマニュアルや健康記録票をいつでも見ることができ、これらに基づいて子どもの健康状態を把握しています。</li> <li>・入園の際に、既往症などを聞き取るほか、「母子手帳」も確認し、子どもの健康状態を把握しています。職員は連絡帳や朝夕の送り迎えの際に、子どもの健康状態や病気について保護者に確認し、必要な場合は職員会議などで共有しています。</li> <li>・食後の歯磨き指導は年齢に応じて保育士が行っているほか、年1回、歯科衛生士の歯磨き指導も実施しています。</li> <li>・感染症マニュアルが整備されています。</li> <li>・「感染症の予防」をテーマにした園内学習会を行うなど、感染症の最新情報を職員が共有しています。</li> <li>・年長児は園向かいの公園で地域の方々と一緒に、毎日ラジオ体操を行っています。</li> </ul>
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p>  <p>(4)衛生管理が適切に行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理マニュアルが整備され、職員室の所定の場所に置いてあり、マニュアルに基づき衛生管理が適切に行われています。</li> <li>・マニュアルは、職員参加の下に、定期的に年1回は見直しをすることが望まれます。</li> <li>・マニュアル更新時は、職員会議を通じて非常勤を含めた全職員に対し周知しています。また、中区の保健師より、吐しゃ物の扱い、手洗いや消毒方法についての研修を受けました。</li> <li>・おもちゃの消毒、下痢便・吐しゃ物の処理などは、マニュアル類に基づいて実施しています。遊具、トイレ、廊下、園庭など、用務員により細やかに清掃がされて、清潔を保っています。</li> </ul>

## - 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]



- (5)安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。
- (6)事故や怪我の発生時および事後の対応体制が確立しているか。
- (7)外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。

- ・安全管理に関するマニュアルについては、「安全点検表」「指導上の配慮事項マニュアル」「避難訓練の動きマニュアル(地震・火災)」「大地震発生時における対応マニュアル」「防災対応マニュアル(体制)」「火災補助説明」にその内容が明記されています。
- ・平成21年度に建物の耐震工事が行われています。
- ・隔月で地震と火災の避難訓練を実施しています。
- ・救急救命法の研修を職員が受け、総合避難訓練の時などにも、園児の前で救急救命手当の訓練をしています。
- ・「安全点検表」に基づき、ドア、玄関、水回り、鉄棒、遊具など毎月1回、主任が点検をし、ケガの無いように注意を払っています。その上で、起きた事故については、事故報告に基づき職員会議に報告しています。職員会議では原因と対応について確認し、更に再発防止策を検討し、改善策について実行しています。
- ・出入口はオートロックで施錠し、不審者が侵入しないよう対応しています。玄関、園内に防犯カメラが設置され、職員室のモニターでチェックしています。また、警備会社との契約をしています。

## - 3 人権の尊重



- (1)保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。
- (2)必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。
- (3)個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。
- (4)虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。
- (5)性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。

- ・自分の気持ちを言葉等で表現することが難しい子どもには、保育士から選択肢をいくつか示すなど、気持ちや発言を大事にしています。特に、外国籍等の園児が多いので、言葉だけでは通じない場合を意識して、どの子どもにも伝わるように常に心がけています。
- ・友だちや保育士の視線を意識せず過ごせる場所は、保育室の中にはあまりありませんが、必要に応じて廊下や外のテラス、プレイルームなどで落ち着いて過ごすことができます。乳児クラスでは段ボール箱に布を貼ったものやクッションを使って子どもが隠れることができる場所を作るなど工夫をしています。
- ・個人情報の取り扱いについて、職務規程に記載し、全職員に周知しています。また、運営法人としては平成3年に、神奈川県に個人情報取扱業務登録を行い、情報取扱に関する業務状況が公開されています。
- ・子どもの様子を観察し、虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけ、児童相談所などの関係機関に迅速に通報・相談する体制が整っています。虐待の定義について、あらためて全職員で話し合うことが望まれます。
- ・遊びや行事の役割、持ち物、服装などで性別による区別をしていません。また、子どもや保護者に対して、父親・母親の役割を固定的にとらえた話し方や表現をしないようにしています。



#### - 4 保護者との交流・連携





- (1) 保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。
- (2) 個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。
- (3) 保護者の相談に応じているか。
- (4) 保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。
- (5) 保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。
- (6) 保護者の自主的な活動の援助や意見交換を行っているか。

- ・園の保育方針について、入園説明会と懇談会で、園長から保護者に説明する機会を設けています。また日常保育の中でも、保育士から、園だよりや連絡帳、園便りで保育方針が保護者に理解されるよう努力しています。
- ・連絡帳やホワイトボードでその日の保育の様子を保護者に伝えるだけでなく、送迎時に保護者と直接話してコミュニケーションを図るように努めています。保護者懇談会は年に2回開催し、クラス全体の様子を伝えています。
- ・保護者からの相談を受けた職員が、園長や保育長の助言を受ける体制があり、相談は記録して継続的にアフターケアを行っています。
- ・「園だより」を毎月定期的に発行し、写真などでも日常の保育の様子を伝えるほか、必要に応じてプリントで、子どもの園生活に関する情報を保護者に提供しています。
- ・保護者が休暇等の予定を立てやすいように、年間行事予定をあらかじめ知らせています。保育参観の希望があれば随時受け入れています。また、保護者の就労状況などに配慮し、個別面談は一斉にではなく、必要に応じて随時、対応しています。
- ・保護者会があります。現在は多くが外国籍等の保護者となり、以前のように活動は活発とは言えませんが、園長・保育長と保護者会代表が連絡を取り合い、運動会の時の園児へのプレゼント費用の補助バザーの物品など、協力してもらっています。



## 評価領域 地域支援機能

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。</li> <li>(2) 地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寿地区自治会や寿町勤労者福祉協会、寿福祉センター保育所などと協力して、地域行事に関する打合せに参加する中で、地域からの施設に対する要望を把握するように努めています。</li> <li>・地域での子育てを支援するためのサービスとしては、夏のプール開放や園庭開放に多くの参加者があり、参加者からの子育てや子どもについての相談に対応しています。</li> <li>・地域(寿町)には現在、高齢世帯中心で、子育て世帯は少ないため、地域住民に向けての子育てや保育に関する講習・研修会は開催していません。</li> </ul>
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。</li> <li>(2) 相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の不老町地域ケアプラザで開催している子育て支援事業「あのね」に協力参加し、情報提供や育児相談を実施しています。</li> <li>・育児相談については、何時でも対応可能ですが、地域には子育て世帯が少なく、実績がありません。育児相談事業を行っていることをもう少し広い範囲でとらえ、外に向けて積極的に発信することが望まれます。</li> <li>・関係機関との連携は園長と保育長が担当し、区役所や自治会など行政や地域の担当者との日常的な連携ができています。</li> </ul>

## 評価領域 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p>  <p>(1) 保育園に対する理解促進のための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 子どもと地域との交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会・夏まつりなど園の行事に地域住民を招待しています。また園長は、地域をきれいにするため寿地区自治会のハマロード・サポーターが行っている清掃活動に、朝早くから参加して協力するなど、地域の団体や機関と定期的・計画的に交流を図っています。</li> <li>・寿地区自治会及び寿町勤労者福祉協会などが主催する「ことぶき作品展」「寿地区七夕祭り」「夏祭り」「ことぶき打ち水作戦」「節分」「クリスマスツリー点灯式」などのイベントに、毎年、近隣保育園と一緒に参加し、子どもたちの生活の充実とともに地域との交流を図っています。</li> <li>・不老町地域ケアプラザでデイサービスのお年寄りや園児がプレゼントや歌の交換をしたり、姉妹園の子どもたちと、もちつき大会や移動動物園の際に行き来して交流したりもしています。</li> <li>・はまぎんホールや横浜市民防災センターなど、地域の文化・レクリエーション施設等を園外活動に利用しています。</li> <li>・地域への施設開放や備品等の貸し出しについては、実績がありません。</li> </ul>
<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p>  <p>(1) 将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報提供しているか。</p> <p>(2) 利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園のパンフレット・中区の広報誌・ホームページ等により、地域や関係機関に随時、情報を提供しています。</li> <li>・園の基本方針や利用条件・サービス内容等についての問い合わせに対しては、園長・保育長・主任が担当し、常時対応しています。</li> <li>・利用希望者からの問い合わせには見学ができることを案内し、保育に支障をきたさない範囲で、見学希望者の都合に合わせて対応しています。</li> </ul>
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p>  <p>(1) ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。</p> <p>(2) 実習生の受け入れを適切に行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み期間中の中学生ボランティアや、読み聞かせや手品をしてくれるボランティアがいます。</li> <li>・実習生の受け入れにあたっては、園長からあらかじめ職員に基本的な考え方・方針を説明し、実習目的に応じた効果的な実習となるようプログラム等を工夫しています。園児には保育士から実習生が来ることを事前に伝えていきます。</li> <li>・実習終了時には実習生と職員とで意見交換も行っています。子どもに人気のある服装で参加した実習生を見て、子どもとの距離の取り方などに意外な発見をすることもあり、保育士が実習生から学ぶ機会にもなっています。</li> </ul>

## 評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p>  <p>(1) 保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。</p> <p>(3) 非常勤職員等にも日常の指導を行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営法人において新入職員、中堅職員、管理監督者研修が行われ、園では一人ひとりの職員に合わせた研修計画を年度初めに作成しています。しかし人材育成計画としては明文化されたものはありません。個々の職員の資質向上に向けた目標設定とその達成度の評価については、前年度より始めたところで、今後、仕組みとしての確立が期待されます。</li> <li>・園内研修は、随時行われる研修報告会のほか、月1回、体育指導研修などを行っています。体育指導の園内研修には非常勤職員も参加しています。</li> <li>・園外研修には、保育リーダー研修や幼保研究会、子育て支援、交通安全指導、保育実践、児童虐待と子どもの権利、アレルギー症、給食、わらべ歌勉強会、美術研究会など多様な研修に参加しています。</li> <li>・年1回、園長と保育長が各保育士との面接を行い、それぞれの保育士の到達と課題を明らかにし、保育長は外部研修を含めた職員研修計画を立てています。</li> <li>・乳児打ち合わせ会と幼児打ち合わせ会（会議）には非常勤職員もクラス担任として出席し、保育長・主任が指導をして、職員間のコミュニケーションを図っています。</li> </ul>
<p>- 2 職員の技術の向上</p>  <p>(1) 職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス向上を目的として「保育会議」が月1回開かれています。保育長は、保育会議において個々の職員のスキルについて指導し、サービスの見直しを行っています。また、職員は「年度を振り返って」という園長への提出文書の中で、「達成したこと」、「反省したこと」として自己評価を行っています。</li> <li>・体育の専門家を外部から招き、非常勤を含む全職員に園内研修を実施し、指導を受けています。また、「コダーイ芸術教育研究所」のわらべ歌や美術の研修を毎年複数名が受講し、保育技術についてアドバイスを受けています。</li> </ul> <p>コダーイ芸術教育研究所は、ハンガリーの教育者のコダーイ・ゾルタンの理念を学んだ羽仁協子氏によって1968年に日本で設立されました。日本のわらべうたを使って行う音楽教育は、乳幼児の保育、教育、こどもの文化活動へと広がっています。特に子どもの円満な人格形成を援助していく保育理念と理論が、多くの保育園、幼稚園、幼児教室で実践され続けています。</p>



### - 3 職員のモチベーション維持



(1) 本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。

- ・個々の職員の経験、能力、習熟度に応じた役割・期待水準は明文化していません。本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高める工夫が望まれます。
- ・運営法人の「職務権限規程」に園長の職務権限や職員の服務心得を規定しています。また、園では、行事や日常業務の分担がされ、権限の委譲範囲と責任を明確にしています。
- ・日常の職員会議などで職員からの業務改善提案が出されています。
- ・園長は「年度を振り返って」という園長への提出文書の中で、意見や改善提案を把握しています。更に、年1回、園長と保育長による全職員面接があり、その際に、職員の希望や要望なども把握し、次年度に生かしています。

## 評価領域 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p>  <p>(1) 事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。</p> <p>(2) サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織及び職員が守るべき法・規範・倫理等については、運営法人の職務権限規程や職員就業規則に服務心得として規定されている事柄を、園長が職員に説明し、周知に努めています。</li> <li>・保護者や子どもたちなどへの職員の接し方を定めた職員の心得「コンシェルジュ宣言」にも、個人情報などの守秘義務や法令遵守が規定され、職員に示されています。</li> <li>・園長は、他施設で起きた不適切な事例をもとに、それらの行為を行わないよう職員に対して啓発しています。</li> <li>・運営法人の経営実績や運営状況は、毎年度の事業報告とともにホームページに決算等として積極的に公開されています。</li> <li>・環境への取り組みについては、電気のスイッチをこまめに切るなど省エネに取り組んでいます。環境への考え方や取り組みについて明文化していますが、園内への周知が望まれます。</li> </ul>
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p>  <p>(1) 保育園の理念や基本方針等について職員に周知されているか。</p> <p>(2) 重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。</p> <p>(3) 主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長は園の基本方針を職員に配付し、職員会議で説明しています。ただし、年に一度、職員会議等で方針や目標を確認する機会を設けるなど、工夫が望まれます。</li> <li>・園長は、職員の転勤や、大規模設備改修などの運営法人の重要な決定については、職員と保護者にも目的・理由・経過などを報告しています。</li> <li>・保育長・主任は、職員個々のサービス提供内容について、保育会議や日常の保育の観察を通して把握し助言と指導を行い、スーパーバイザーとしての役割を果たしています。</li> <li>・保育長・主任は、職員の体調や様子を把握し、体制を調整するなど柔軟に対応し、職員の有給休暇の取得状況や休憩時間の保障にも目配りしています。</li> </ul>

### - 3 効率的な運営



(1) 外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。

(2) 保育園運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。

- ・園長は、人口動態や待機児・子育て支援をめぐる状況など事業運営に影響のある外部環境情報について、運営法人の事務局や姉妹園、市子ども青少年局、中区の園長会、自治会など関係機関等から収集し、分析しています。
- ・園の将来に関する重要な事項については、運営法人の「内部所属長会議」において園長も出席して検討し、運営法人の事務局で最終決定しています。重要事項については園長・保育長で随時話し合っており、運営法人で決定された事項は職員会議等を通して職員に伝えています。
- ・園長は、私立園長会や、市保育運営課、外部研修や講演会などで積極的に情報を得て、運営に関する外部の機関や専門家などの意見を事業に活かしています。今後の子育て支援事業、一時保育、育児相談の検討などに繋がっています。

## 利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2010年9月1日～9月15日
- 2、実施方法 保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。  
各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。
- 3、回収率 60.8%（51枚配付、31枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児クラス...1人、1歳児クラス...6人、2歳児クラス...3人、3歳児クラス...4人、  
4歳児クラス...9人、5歳児クラス...6人

同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。  
文中の「満足」「満足度」は、「満足」・「どちらかといえば満足」の回答を合計した数値、  
「不満」は、「不満」・「どちらかといえば不満」の回答を合計した数値です。

### 家族アンケート分析：まとめ

- ・ 「職員の目配りの良さを感じる」「連絡帳や送り迎え時にお話しを十分できることで、悩み事も相談しやすい」という保護者の感想にあるように、総合評価では84%の保護者が「満足」「どちらかといえば満足」で、総じて園のサービスに「感謝している」「とても満足している」という評価の保護者が多数となっています。
- ・ 日常の保育内容では“遊び”については、「クラスの活動や遊びについて子どもが満足している」「おもちゃや教材が自由に使える」「友だちや保育者との関わり」「健康づくりへのとりくみ」が高い評価が得られています。“生活”については「給食や献立内容」「基本的な生活習慣」「午睡や休憩を子どもの状況に応じてしているか」「子どもの体調への気配り」について満足度が高くなっています。
- ・ 保育目標、保育方針への賛同は95%と高い水準ですが、「保育目標や保育方針を知っていますか」との問いには「あまり知らない」「まったく知らない」を合わせ2割となっています。



## 利用者（園児）家族アンケート集計結果

実施期間： 2010年 9月1日～15日

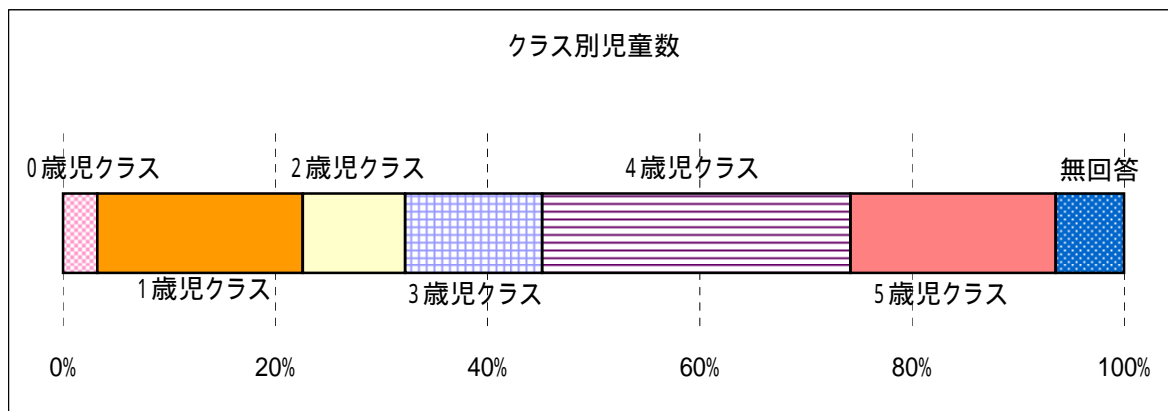
回収率： 60.8% （回収31枚 / 配付51枚）

配付51枚の言語内訳：中国語23枚、日本語21枚、英語6枚、ベトナム語1枚

### 【属性】

クラス別児童数							（人）
合計	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答
31	1	6	3	4	9	6	2

同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どものクラスで記入



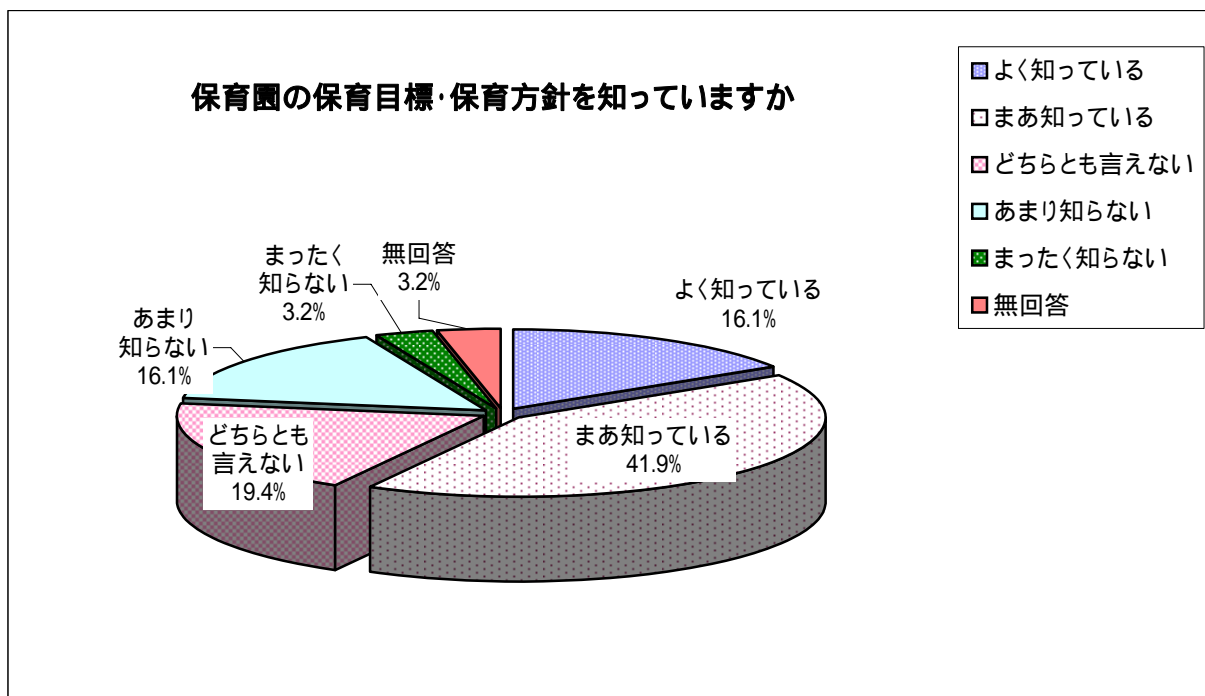
# 保育園の基本理念や基本方針について

## 問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	16.1	41.9	19.4	16.1	3.2	3.2	100

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

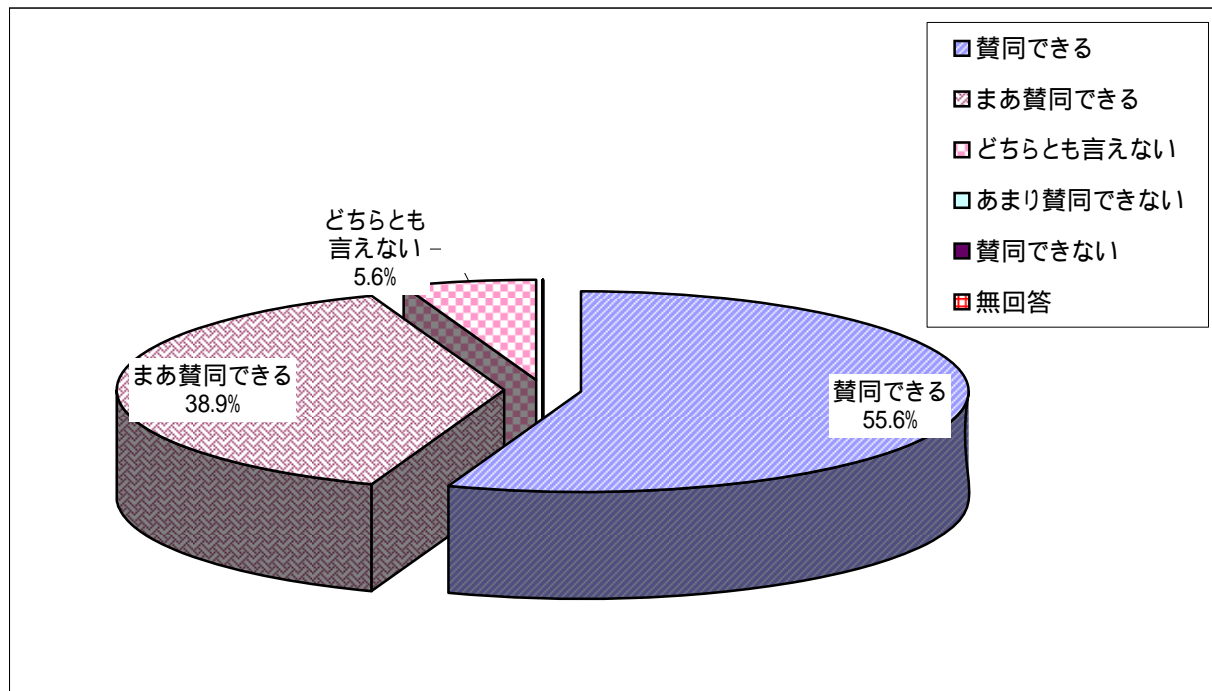


「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

## 付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	55.6	38.9	5.6	0.0	0.0	0.0	100



# 保育園のサービス内容について

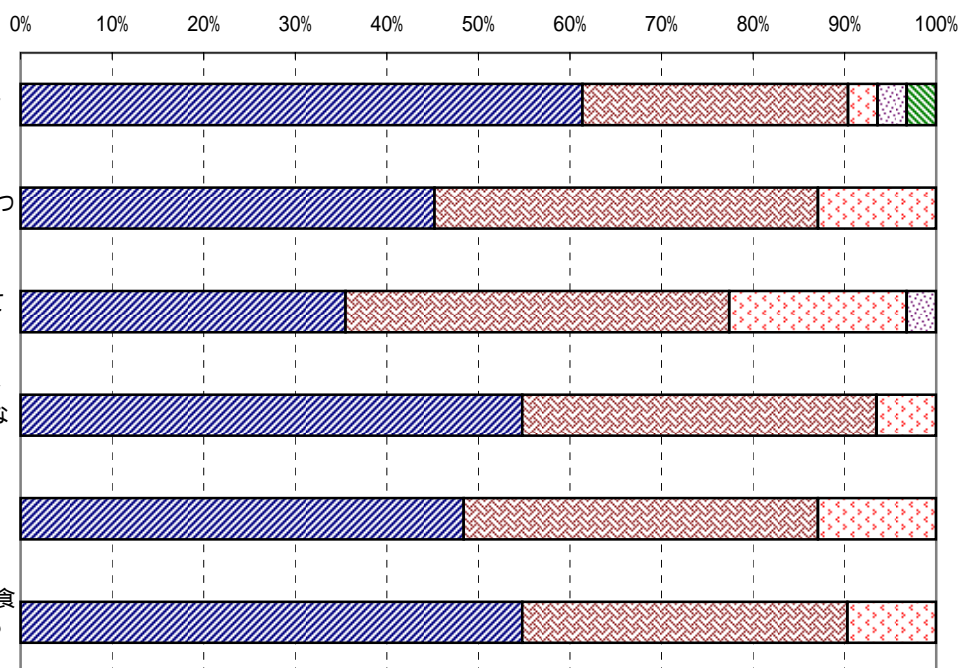
## 問2 入園時の状況について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	61.3	29.0	3.2	0.0	3.2	3.2	100
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	45.2	41.9	12.9	0.0	0.0	0.0	100
園の目標や方針についての説明には	35.5	41.9	19.4	0.0	3.2	0.0	100
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	54.8	38.7	6.5	0.0	0.0	0.0	100
保育園での1日の過ごし方についての説明には	48.4	38.7	12.9	0.0	0.0	0.0	100
費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかなども含めて)	54.8	35.5	9.7	0.0	0.0	0.0	100

### 入園時の状況について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



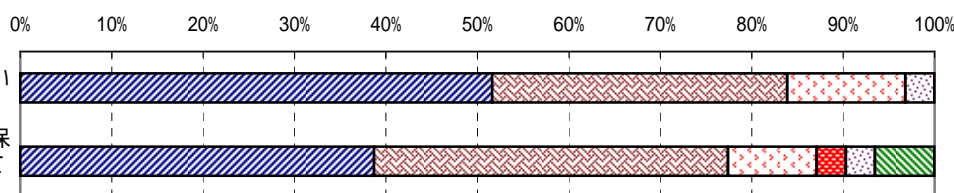
## 問3 年間の計画について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	51.6	32.3	12.9	0.0	3.2	0.0	100
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	38.7	38.7	9.7	3.2	3.2	6.5	100

### 年間の計画について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



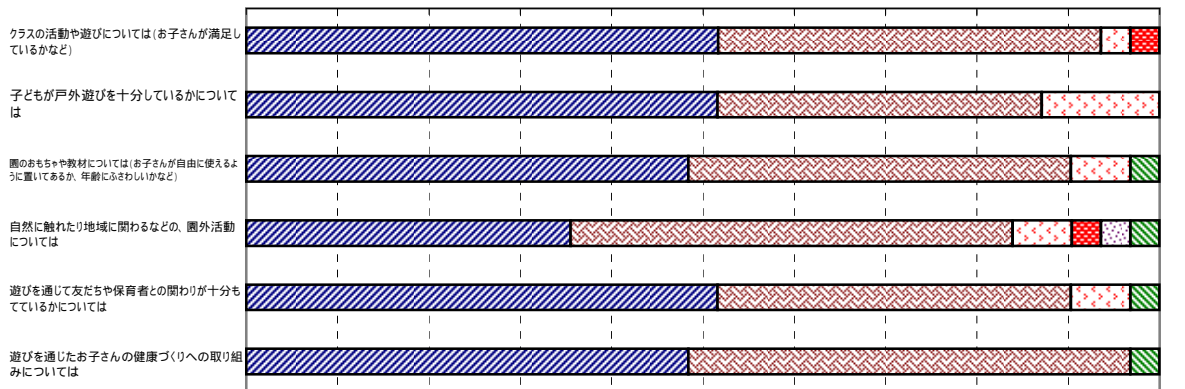
### 問4 日常の保育内容について

(%)

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	51.6	41.9	3.2	3.2	0.0	0.0	100
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	51.6	35.5	12.9	0.0	0.0	0.0	100
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	48.4	41.9	6.5	0.0	0.0	3.2	100
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	35.5	48.4	6.5	3.2	3.2	3.2	100
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	51.6	38.7	6.5	0.0	0.0	3.2	100
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	48.4	48.4	0.0	0.0	0.0	3.2	100

#### 日常の保育内容「遊び」について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答

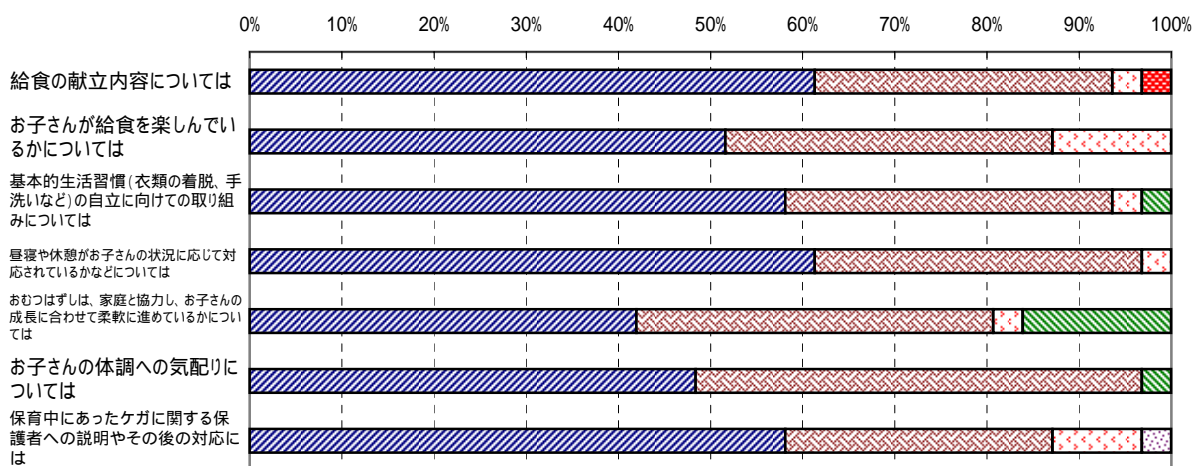


(%)

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	61.3	32.3	3.2	3.2	0.0	0.0	100
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	51.6	35.5	12.9	0.0	0.0	0.0	100
基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	58.1	35.5	3.2	0.0	0.0	3.2	100
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	61.3	35.5	3.2	0.0	0.0	0.0	100
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	41.9	38.7	3.2	0.0	0.0	16.1	100
お子さんの体調への気配りについては	48.4	48.4	0.0	0.0	0.0	3.2	100
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	58.1	29.0	9.7	0.0	3.2	0.0	100

#### 日常の保育内容「生活」について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



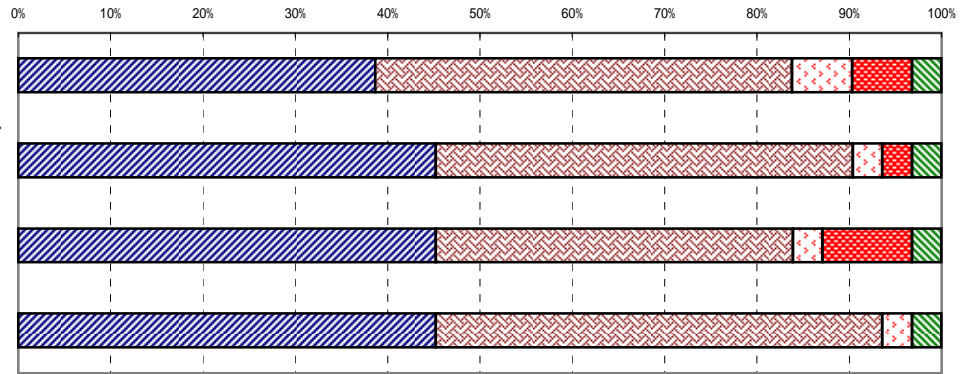
### 問5 快適さや安全対策などについて

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	38.7	45.2	6.5	6.5	0.0	3.2	100
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	45.2	45.2	3.2	3.2	0.0	3.2	100
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	45.2	38.7	3.2	9.7	0.0	3.2	100
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	45.2	48.4	3.2	0.0	0.0	3.2	100

#### 快適さや安全対策などについて

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



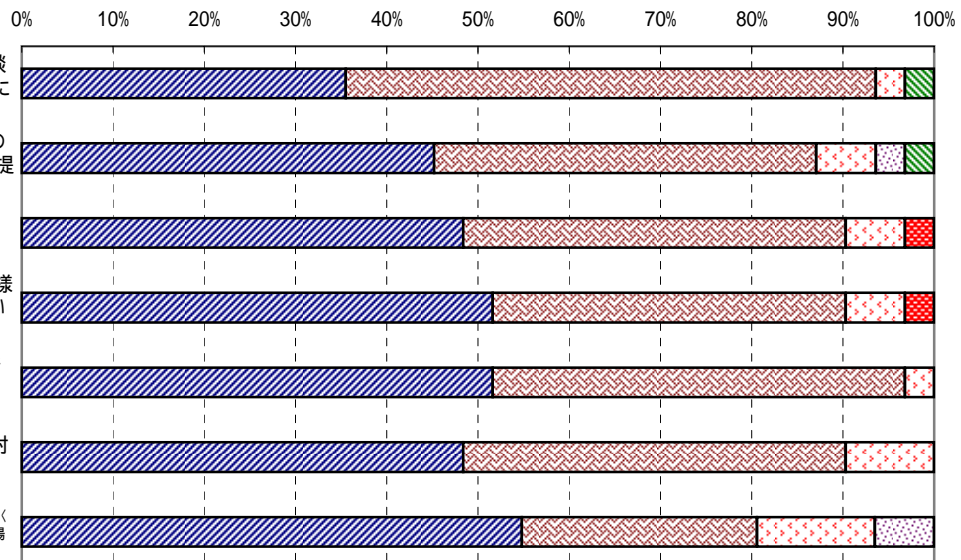
### 問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	35.5	58.1	3.2	0.0	0.0	3.2	100
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	45.2	41.9	6.5	0.0	3.2	3.2	100
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	48.4	41.9	6.5	3.2	0.0	0.0	100
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	51.6	38.7	6.5	3.2	0.0	0.0	100
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	51.6	45.2	3.2	0.0	0.0	0.0	100
保護者からの相談事への対応には	48.4	41.9	9.7	0.0	0.0	0.0	100
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	54.8	25.8	12.9	0.0	6.5	0.0	100

#### 園と保護者との連携・交流について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



### 問7 職員の対応について

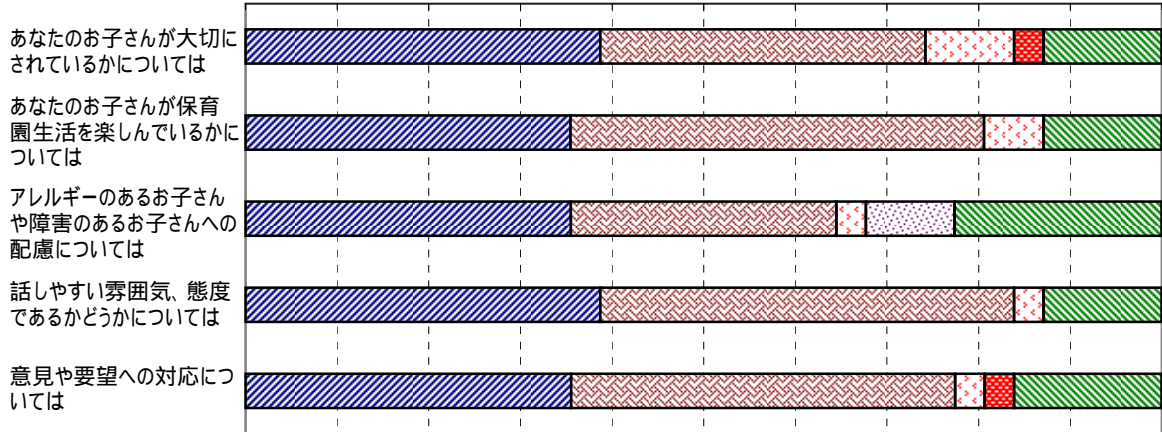
(%)

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	38.7	35.5	9.7	3.2	0.0	12.9	100
あなたのお子さんが保育園生活を楽しくしているかについては	35.5	45.2	6.5	0.0	0.0	12.9	100
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	35.5	29.0	3.2	0.0	9.7	22.6	100
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	38.7	45.2	3.2	0.0	0.0	12.9	100
意見や要望への対応については	35.5	41.9	3.2	3.2	0.0	16.1	100

#### 職員の対応について

■満足 ■どちらかといえは満足 ■どちらかといえは不満 ■不満 ■その他 ■無回答

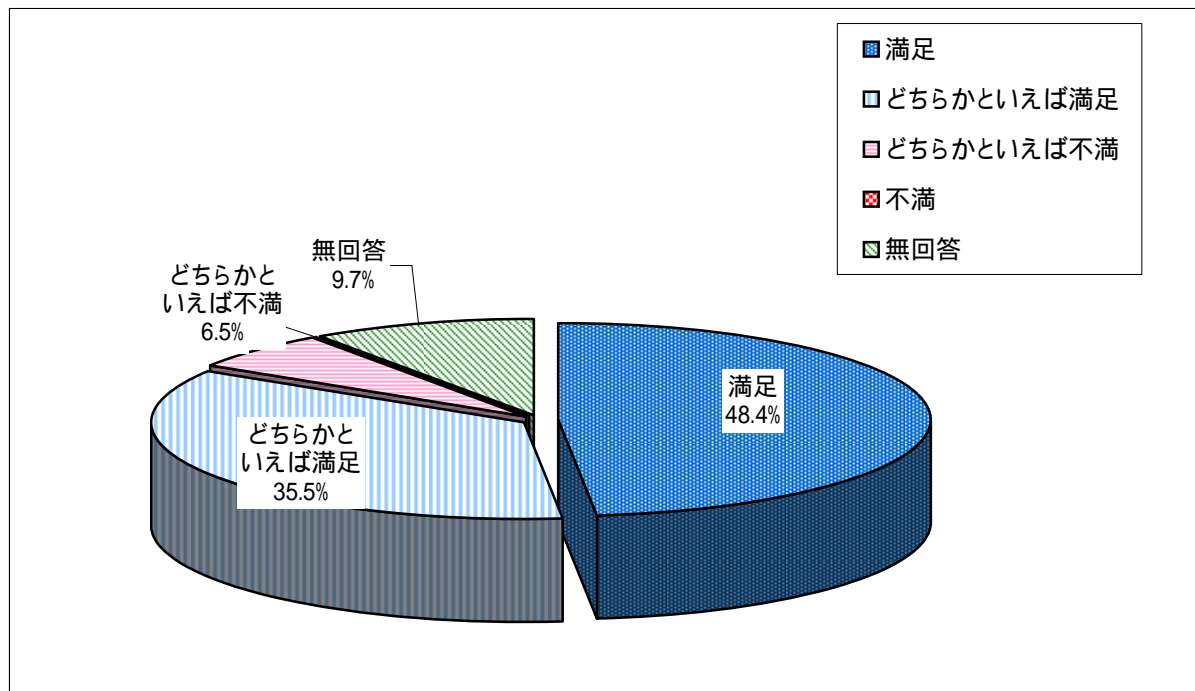
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



### 問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	無回答	計
総合満足度は	48.4	35.5	6.5	0.0	9.7	100



## 利用者（園児）本人調査 分析

観察調査 2010年11月4日（木）9：00～18：00 11月10日（水）8：30～17：00  
観察中、幼児を中心に、会話の中で適宜聞き取りを行いました。

### 0歳児クラス（もも組）

園玄関から入って一番手前にある保育室で、入り口側には沐浴設備や調乳室があります。朝、保護者と一緒に登園すると自分の好きなおもちゃを取り出して遊び始めます。保育士が「お片付けをしましょう」と声をかけると自分の遊んでいたものを棚へ収めたり、小さなブロックなどはウォールポケットの中に入れたり、自分で片付けることが出来ます。

外遊びも大好きで、まだ上手に歩けない子どもは、プラスチックボックスをひっくり返したものを押し車のようにして園庭を自由に移動しています。砂場やログハウスで1歳児の遊び様子をマネしながらおままごとをしたり、空を飛んでいるヘリコプターをみて嬉しそうに手を振ったりしています。

おやつや食事の時には、月齢の高い子どもはスプーンと手を使って自分で食べています。この日は、評価調査員の訪問に興奮した為か落ちつかない様子でしたが、保育士は食事の順番を変えるなど一人ひとりのペースに合わせて対応していました。子どもたちは、使ったタオルとエプロンを食後にバケツにしまいにいきます。

場面の切替時は、子ども一人ひとりに保育士が名前を呼んで声をかけ、抱っこでオムツ台のところに行きます。わらべ歌を歌ってもらったり、優しく声をかけてもらいながら、オムツを替えてもらう時間もご機嫌でした。

### 1歳児クラス（たんぼぼ組）

廊下から保育室に入ると、ロッカーが並んだ場所とトイレが左右にあり、その奥の園庭に向かった場所で子どもたちは過ごしています。保護者は登園後、タオルや着替えなどを定位置にしまうとオムツを替えて、保育士に朝の子どもの様子や帰りの時間を伝えています。この時に与薬の必要がある場合には保育士に直接手渡しをして説明をしています。

子どもは、自分で保育スペースに入っていくと友だちや保育士とあいさつを交わしたり、おままごとや絵付きの積み木、ぬいぐるみ、チェーリングなど、自分の好きなおもちゃや絵本を取り出して遊び始めます。

どの子どもも園庭で遊ぶことが大好きで、保育士が「お外へ行きます」というと自分で帽子を取りに行き、友だちの帽子まで取ってきて被せてあげる子どももいました。上着を着せてもらうとテラスに出ていきます。園庭では0歳児と一緒に遊んでいます。道路に向かった柵越しに、近隣の住民が子どもたちに声をかけると保育士とともにあいさつをしていました。

外から保育室にもどると、保育士に手伝ってもらって着替えをして、自分で出来る子どもはトイレに行き、まだオムツの子どもは0歳児室にある高いベッドの上で保育士に替えてもらいます。保育士は、絶えず子どもたちに声をかけ、上手にできたことを褒められた子どもたちは嬉しそうにしています。

食事は、自分でスプーンを使って上手に食べ、食後は保育士に歯磨きをしてもらっています。

### 2歳児クラス（ばら組）

朝、保護者と登園すると保護者がお便りを読んだり、保育士に体調など伝えたりしている間に、子どもは自分で保育室に入り、友だちの仲間入りをして遊び始めます。

保育士は、子どもの様子を見ながら保護者から体調の連絡を聞き、必要な子どもには熱を測ったり、寒くないように服装の調節をしています。

ミニキッチンセットの所では、子どもたちがおもちゃのシャベルを使ってボールをかき混ぜる作業に集中していました。「牛乳を入れて、砂糖を入れて」「くんはかき混ぜて」「冷蔵庫に入れて」と、アイスクリーム作りをしていることが分かりました。そばでは、保育士に布のお菓子を運び、「ああ美味しい」と言ってもらって、満足そうにしている子どももいます。

園庭遊びでは、小さなメガホンで大きな声を出しながら走り回ったり、砂場遊びや小さなログハウスでままごと遊びをしたり、保育士に見守られながら元気に遊んでいます。

「痛い」「何もやっていないよ」と、子ども同士のけんかが始まりそうになると、保育士が自然に間に入り、お互いの気持ちに共感するように双方から話を聞いていました。

#### 幼児クラス（3・4・5歳児 異年齢クラス：空グループ、星グループ）

3歳児から5歳児までは、縦割りとなっていて2クラスに分かれています。子どもたちは、登園後にコップやタオルを自分で所定のところへ置くことが朝の仕事となっています。

朝の仕事が終わると、プレイルームへ行って、ロゴブロックやおセロ、絵本、将棋など各自自由に遊びを見つけて朝の時間を過ごします。

子どもたちは、園庭でも元気よく遊びます。外遊びでは、フラフープや鉄棒、ボール遊びや掛けっこなど、園庭中を使って夢中で遊んでいました。

遊びの途中でお漏らしをしてしまった子どもがいましたが、自分で保育士に伝え、着替えを持ってトイレの奥のカーテンで仕切られたシャワースペースでフリーの保育士に着替えを手伝ってもらおうとすぐに遊びに戻っていました。

外遊びが終わるとたらいで足を洗い、保育室に戻って、手洗いとうがいをすると当番が給食の準備をします。調理室から給食を運び込んで配膳を手伝います。給食は、食べる前に自分で食べられる量に調整して、全部食べ終わると自分でおかわりをして食べています。子どもたちに聞くと、嫌いなものも少しだけ食べてみるそうです。好きなメニューは「野菜、魚、カレー」と答えていましたが、何でも美味しく食べる様子が見られました。

3・4歳児が午睡の間、5歳児はプレイルームで自由遊びの時間となります。訪問調査の2日目には、茹でたサツマイモでラップを使って茶巾絞りを作り、おやつ時間に全園児に振る舞われました。

#### 体育

幼児クラスでは、毎週のように体育の時間があります。空と星の保育室の間のパーテーションを開けて、2つの保育室を繋げて広くしてホールとして使っています。プログラムは、3、4、5歳の年齢ごとに行っています。

子どもたちは、体操服に着替え、時簡になると保育室内のテープで引いた線の所へ並びます。保育士の「これから体育を始めます」というかけ声に応じて「お願いします」と大きな声であいさつをします。

保育士の説明に従って、2人ずつ手を繋いで円を描いて並んで歩いたり、かけ声に合わせて走ったり、止まったり、段々と全員の列が綺麗に揃ってきます。身体が温まったところで、マットが並べられると、並んで座り、卵のように丸くなって身体を揺らすことからはじめ、段々と勢いを付けて、最後には転がる勢いを使ってバランスを取って立ち上がります。その後は平行台を上手に這って移動したり、豆の入った袋を投げて受け取ったりするなど、少しずつ難しいメニューになっていきます。

終わると手洗いとうがいをして着替え、次のクラスと交替です。年齢に成長に合わせたプログラムが用意されていて、どの年齢の子どもも「出来るようになった!」という満足感と、身体を動かしたあとの開放感からか、テキパキと着替えると次の遊びに入っていきます。

全年齢が終わると、5歳児は保育士の手伝いをしてマットなどの道具類を片付け、保育室が元通りになるように積極的に手伝っています。

#### 避難訓練

訪問調査2日目に、火災を想定した避難訓練がありました。保育士はヘルメットをかぶり緊急持ち出しセットのリュックを背負い、全園児が保育士の声かけで園庭に出てクラスごとに並ぶと、園庭の門から順番に出て、園の前の公園に避難します。終了後、園長が火災訓練についてわかりやすく説明し、子どもたちは、注意事項や次回の目標をしっかりとうなずいて聞いていました。

#### まとめ

子どもたちはお互いに仲良く、活発に充実した園生活を送っています。

保育士との信頼関係もあり、できない事は素直に助けを求めることの出来る子どもたちです。遊びや与えられた仕事の中で、「自分で考え、創意工夫をしながら自発的に遊ぶ」という園の保育目標が実践されている様子が見られました。



## 事業者コメント

今回第三者評価を受けるにあたって

- 1 どこまで冷静に本質を見極められるか
- 2 各項目の基準はあるが、事業者によって評価が異なるのか  
などの懸念がありました。

実際に受けてみて、項目毎の話し合いにより職員の共通理解・認識となりました。  
マナー化を防ぎ、改めて見直す良い機会で、確認でき良かったと思っております。  
褒められたことについては謙虚に受け止め、アドバイスされたことは改善し、  
よりよい保育園にしていきたいと思っております。

園長

～各職員より～

- ・ 担当が集まって何度も話し合える機会があって良かったし、新しい発見があったという点では勉強になった。
- ・ 職員同士の話し合いには、かなり時間がかかってしまい大変だったが、普段とは違う意見交換となり、有意義な時間となった。
- ・ 保育士をやってきて、初めての経験だったが、自己評価と、他の職員の評価を見比べて、意見交換が出来た事が良かった、又、勉強になった。
- ・ 日常の保育の中で行っている事柄のひとつひとつに確認できたことは、良い経験だった。話し合いの中で今まで問題にしていなかったことに目を向けられたことは、良かった。
- ・ 自分の保育の見直しが出来て良かった。
- ・ 思ったより大変だったが、細かいところまで普段考えていなかったので良い機会となった。
- ・ 幼児クラスのことについては、大体わかっているつもりだったが、乳児クラスのことについては、知らないことがあったので、職員で話し合え、勉強になった。
- ・ 自分は非常勤という立場もあり、保育中心のことだけで良いと思っていたが、新たな視点で保育以外のことも知る機会がもてて、良かった。
- ・ 自分は派遣だが、みんなで話し合い、保育の中で自分が意識していないことが多かったり、いろいろな面で自己評価も出来、とても良かった。
- ・ 自己評価をして、項目によっては把握できていなかったことも分かり、マニュアルを見たり作り直さなければならなかったりと、いろいろ確認できたのは良かった。
- ・ 自己評価を行う前は、全く、保育のこと、保育園の体制にや仕組みについて知らなかったが、それぞれ評価したものを持ち込み、意見をまとめる話し合いでどう保育を行っているのか、保護者や園児に対応しているのか知る事ができた。又、給食の業務も保育士に知って貰えた。
- ・ 職員5名で話し合い、確認しあう過程で今まで分かったつもりでいた事、曖昧だったことが整理された。
- ・ 資料を作成するにあたっては、とても大変で、苦痛だった。  
新採用された人がことぶき保育園を理解する時間がないなかで、以前の自分の経験を持ち出し比較するなど、意見を統一するのに時間を要した。

- ・ 一人一人の思い、意見をまとめていく難しさを知った。全体をまとめた時は、時間がかかって大変だった。
- ・ 保育のことだけでなく、運営のことなど、自己評価をする時は、問いただされている意味を把握するのに時間がかかってしまったり、給食のことまであったので、分からない部分も何ヶ所があった。質問も難しく、分からないこともあった。
- ・ コンシェルジュに関しては、しっかりとした受け応えができなかった。
- ・ 自己評価をして、毎日、繰り返されていることは理解していたが、判断に迷うこと、知らなかったことも多々あった。
- ・ 給食室で1日の大半を過ごす中で、どのように保育が行われ、保育士がどのように園児、保護者に対応しているか、など触れる機会もなく、自己評価で評価出来る箇所が1、2ヶ所くらいで、あとは、全く分からなかった。
- ・ 第三者評価について、自己評価と評価結果が同じだったり、評価が全体的に良く書かれていたので良かった。
- ・ 第三者の評価は、思ったよりも良く、これからの保育園がより一層、繁栄していき、その中で、保育士として成長していければと思った。
- ・ 評価していただいた事は前向きにとらえて、更によりよい園になると良いと思った。皆で同じ事を理解し合えることにより、よりよい園が築いていけると思った。今回行って得た知識を忘れずに今後の保育に活かしていきたい。
- ・ 目を通していないマニュアルがあることも知らず、園としての対応など改めて勉強、覚えていかなければいけないことがいくつかあった。マニュアル資料は日頃から目を通し、頭に入れておかなければと改めて感じたし、自分自身の課題を克服していく必要があると思った。
- ・ 評価を受けての課題を全職員が共通理解を得られるよう話し合いを深めていきたい。
- ・ 保育経験が浅いので色々アドバイスなどしあえる場があると心強いなと思った。
- ・ 全てを把握することは難しいが、皆で作りに上げていかれると良いと思った(マニュアル等)。
- ・ 会議では、保育(子ども)の話題が中心だが、時には、確認し合う、共通理解する事も大切ではないかと思う。
- ・ いかに子どもへの関わり方、保護者との協力、横のつながりが大切か、確認することが出来た。
- ・ 外国籍の子ども、保護者が、今後も安心し、お互いを理解し、協力し合い、暖かく支えてもらえるように、保護者と信頼関係を築いていきたい。



～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見るができます ～

市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/>

横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://cgi.city.yokohama.jp/kenkou/jigyousyajoho/hyoukaall.cgi>

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.k-daisansyahyouka.org/>

---

特定非営利活動法人



特定非営利活動法人

市民セクターよこはま 評価・改善事業ユニット

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

〒231-0013 横浜市中区住吉町二丁目 26 番地 洋服会館 2 階

TEL:045-222-6501

FAX:045-222-6502

<http://www.shimin-sector.jp>

---